

【ATC 道標⑧】

今日は、アークテックコム(株)
にて技術書類の作成を行って
います豊原 信です。

Tel : 050-6864-6201
Fax : 050-6864-6202
E-mail :
m.toyohara@arcteccom.jp

ベクトル合わせ

今日は弊社の「道標」の続き
の紹介を致します。

パートナーシップを重視する

弊社の理念には、心の通じあえる（思いの通じあえる）、信頼できる仲間づくりを目指し、これをベースに仕事を行うという考え方があります。したがって仕事に関わる者同士は、発注者と受注者や経営者と従業員という縦の関係ではなく、ひとつの目的に向かって行動を共にし、自らの夢を実現していく同志の関係、つまりパートナーシップという横の関係が基本となっています。

一般にありがちな権力や権威に基づく上下関係ではなく、志を同じくした仲間が心をひとつにして目標を達成していく関係です。

これはパートナーとしてお互いの人間性と自由を理解しあい、信頼しあえる人間同士

の結びつきとなっていかなく
てはいけません。

この「パートナーシップを重視する」という項目も、先の「心を使って経営する」「大家族主義で経営する」と同じように、優しい思いやりの心をもって繋がった信じ合える仲間として、共に経営をしていく内容です。

全員参加で経営する

全員が経営に参加するには、アメーバ組織のような小グループの独立採算経営が適しています。このアメーバ組織の特徴は、市場の動きに直結する動き、即ちニーズの変化に合わせて商品やサービスの製作方法や工程を変化させます。そうすることで市場の動向に柔軟に対応が出来、将来の変化も予想が出来るようになります。アメーバ組織の従業員は自分達が先頭を切っている気持ちを持てるようになります。いくらで売っているくら稼ごうと自発的に動ける

ようになります。さらに各アメーバは自主独立で経営されており、そこでは誰もが自分の意見を言い、経営を考え、それに参画することができます。一握りの人だけで経営が行われるのではなく、全員が参加するということにその意義があるのです。この経営への参加を通じて一人一人の自己実現が図られ、全員の力がひとつの方向にそろったときに集団としての目標達成が可能となります。

経営の考え方はフィロソフィ
ーで統一

会社経営はアメーバ組織による経営が基本です。市場の動向に直接的に対応が可能な、売上が立つ最小の集団をアメーバといいます。会社の中をこのアメーバで組織し、それぞれが独立採算で経営します。これらのアメーバ組織が経営の使命（経営の目的）に向かって進みます。この時に、経営者の考えとアメ

ーバのリーダーとスタッフの考え方のベクトルが合っていないと、例えば、大海原の激しい潮流の中で、船頭と漕ぎ手のベクトルが合っていない場合と同じで、船は沈没してしまいます。これを乗り越えるには、リーダーとスタッフと経営者がフィロソフィーをベースに同じ考え方で判断することが必要です。

ベクトルを合わせる

人にはそれぞれ様々な考えがあります。もし従業員 1 人 1 人がバラバラな考えに従って行動したらどうなるでしょうか。

それぞれの人の力の方向（ベクトル）が揃わなければ力は分散してしまい、会社全体としての力とはなりません。このことは、野球やサッカーなどの団体競技を見ればよくわかります。全員が勝利に向かって心をひとつにしているチームと、各人が「個人タイトル」という目標にしか向いていないチームとでは、力の差は歴然としています。

全員の力が同じ方向に集結したとき、何倍もの力となって驚くような成果を生み出します。1 + 1 が 5 にも 10 にもなるのです。

ベクトルが合うまでとことん話し合う

これは先ほどの「全員参加で経営する」ということとまったく同じです。

みんなが嫌々経営に参加するのでは困るわけで、ベクトル（力の方向）を合わせるという経営において一番大事な要素、つまりそれは「考え」であり、会社としてはまず、従業員全員の「考え」を合わせるということと「進むべき方向」を合わせることが大切なのです。

会社の進むべき方向や目標を全員で認識し、経営に参加することが大事なのです。

人間、顔がみんな違うように、「考え方」もみんな違います。そのように違った個性や「考え方」を持った人たちが集まってひとつの会社を形成し、経営していくわけですから、「こういう「考え」で経営し、この方向を目指していきます」ということを従業員に訴え、その方針に同調してもらうことが一番大切なのです。

※2026 年 09 月号に続きます。

今月の応援メッセージ

寝がけは崇高な人間に成りましょう

昼間、起きているときには、私達の暗示感受習性というものは、ああ良いね、共感するな、と感じたこと以外は潜在意識に浸透してこないと言われていいます。

ところが夜の世界だけは、特に寝がけにベッドの中に入ってから、精神のアンテナが無条件に良いことも悪いことも、全て差別なく浸透させてしまう。だから良いことを考えるのです。嘘でもいいから、私は優れた人間だ、思いやりのある人間だ、腹を立てない人間だ。と思えば良いのです。

それを寝がけによけいに腹を立てる人がいらっしゃる。昼間、興奮している間は思いださなくて、寝がけになって思いだす。もういっぺん起き上がって腹を立てる。

夜のベッドの中で神様の懐に入ったような穏やかな気持ちになりましょう。今夜から。寝がけだけは絶対に尊い人間に成りましょう。身体にどんな結果が来るのでしょうか。

豊原 信